

銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号
加藤金属興業株式会社

◎ 2021年7月の国内電気銅建値は下記の通りです。

7月	1日	～	1090円/Kg
7月	6日	～	1100円/Kg
7月	9日	～	1070円/Kg
7月	14日	～	1080円/kg
7月	20日	～	1050円/kg
7月	26日	～	1110円/kg

2021年7月度は平均で1087.50円/kgとなり、前月比23.90円/kgの値下がりとなりました。

海外銅価の動き

7月のLME銅相場	7/1～7/29	(安値ドル9,211.00～9,709.00 高値ドル)
7月のNYC銅相場	7/1～7/29	(安値セント421.05～458.90 高値セント)

7月度のLME現物は、1日\$9,342.00でスタート。6月の\$10,212.50の1万ドル超えでのスタートと比べると大きくダウンした形のスタートとなった。4月スタートは\$8,768.00。5月スタートは9,961.00に上昇。そして6月も大きく上昇し、7月スタートはやや落ち着きを見せる動きとなった。7月に入り\$9,000台前半で終始するも、月末にかけて再び上昇への動きが見え隠れする銅相場となった。

銅価格上昇の要因としては、脱炭素によるEVの急速な普及による“グリーンサイクル”などと呼ばれている動きが広がり強気の見方がされている。しかしながら、中国景気の減速やその動きに沿った中国の非鉄金属の国家備蓄の放出の噂などで、年末には\$8,000まで下落するなどの見方をする専門筋もある。何れにしても過去最高値を記録した銅価格においては、今後も激しい動きが予想され、注意が必要である。

銅需給バランス…P社情報 2021年1月 資料より (単位/千トン)

	2020年 実績	2021年 実績	前年比	2022年 予想	前年比	2023年 予想	前年比
全世界地金生産	23,270	23,845	+2.5%	24,518	+2.8%	25,219	+2.9%
全世界地金消費	22,993	23,691	+3.0%	24,417	+3.1%	25,142	+3.0%
全世界需給バランス	+277	+154		+101		+77	

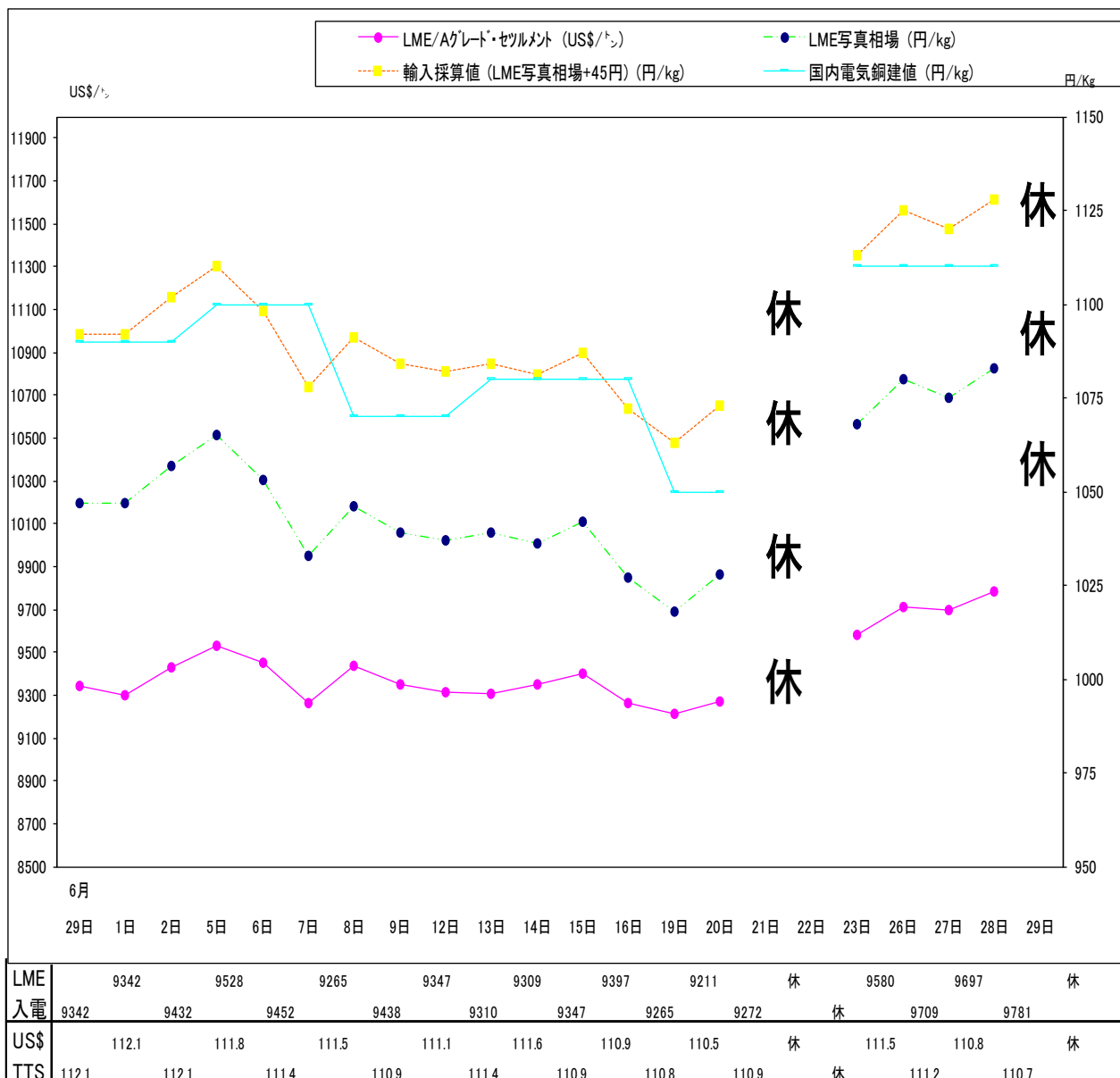
先行き短期見通

国内銅価

7月の国内建値は1日1090円でスタート。6日1100円、9日1070円、14日1080円、と直近としては穏やかな動きとなった。20日1050円と下げるも、26日には1100円とやや戻した。

7/29付LME\$9,781.00、同為替(TTS)1USD=110.78円で日本円換算計算値1,084円/kgに。2021年8月度の国内電気銅建値のスタートは、以降変化のない限りでは、1120円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2021年7月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 7月 1日 ~ 382 円/kg
- 7月 7日 ~ 376 円/kg
- 7月 12日 ~ 379 円/kg
- 7月 15日 ~ 370 円/kg
- 7月 20日 ~ 373 円/kg
- 7月 27日 ~ 385 円/kg

平均378.10円/kg

2021年7月は上記の通りで前月比 0.60 円/kg の値下げとなりました。

これはLME亜鉛相場の下落で引き下げられたもの

◎ その他の建値

電気鉛	7月	315.20 円/kg	(前月比+ 17.70 円/kg)
電気錫 (相対)	7月	5,080.00 円/kg	(前月比+ 80.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	7月中価格	2,250.00 円/kg ~ 2,300.00 円/kg	
銀	6月平均	97,090.00 円/kg	(前月比- 1,060.00 円/kg)
	7月30日	91,050.00 円/kg	
金	6月平均	6,533.27 円/g	(前月比- 12.84 円/g)
	7月30日	6,468.00 円/g	

◎ 伸銅品関係

2021年6月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		5月度実績	6月度速報	前月比	前年6月度実績	前年同月比
銅	板	914	1,074	17.5%	943	13.9%
	条	21,995	24,045	9.3%	16,269	47.8%
	管	9,654	8,461	-12.4%	7,049	20.0%
	棒	1,730	2,016	16.5%	1,547	30.3%
	線	305	346	13.4%	215	60.9%
黄銅	板	529	503	-4.9%	527	-4.6%
	条	7,725	9,037	17.0%	4,686	92.9%
	管	403	395	-2.0%	349	13.2%
	棒	13,585	16,088	18.4%	10,983	46.5%
	線	2,117	2,424	14.5%	1,098	120.8%
青銅	板	2,552	3,042	19.2%	1,772	71.7%
	条					
	棒	241	286	18.7%	240	19.2%
	線					
洋白・その他	板	388	431	11.1%	356	21.1%
	条					
	棒	347	452	30.3%	141	220.6%
	線					
合計	62,485	68,600	9.8%	46,175	48.6%	

6月の伸銅品生産速報は、68,600トンで前月比プラス6,115トン、前年同月比プラス48.6%となり、前年同月比が6ヶ月連続でプラスとなりました。

電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の4月分実績及び5月分推定によれば、4月分実績は建設電販や電力通信など4部門が前年同月を割込んだものの、電気機械と自動車、輸出の3部門が大幅に伸びたため、総計5万3千787tとなった。銅電線出荷の5月分推定は、建設電販が16ヶ月ぶりにプラスに転じ、電気機械と自動車が大きく伸び、更に輸出も上向いたため、総計4万5千900tで同9.1%増と大きく伸び、2ヶ月連続で増加の見通し。電線需要は回復傾向にはあると言える。

一方、4月分の7部門別銅電線出荷実績をみると、プラスグループは電気機械と自動車、輸出の3部門となった。いずれも2桁増となったため、他の4部門のマイナスをカバーし、内需計は5万2千580tで同2.3%増と、2ヶ月連続で増加した。

電気機器は、自動車の電装用途と半導体、センサー類、シールド、FA・ロボットや工作機械向けが動いたうえ、医療向けも増加し、同13.1%増。自動車向けは同29.2%増と好況に推移した。傾向的には昨年10月以降上昇基調にあり、電動化による期待大。また、輸出はこれまでの数値が低かったうえにスポット需要の発生も多く、22.7%増となった。

一方、マイナスグループは4部門。通信は基地局用同軸は動くが、同21.4%減。電力は洋上風力発電は好調だが、同3.8%減。建設電販は両ルート共に鈍化で同5.6%減少。その他内需はコロナ禍などの景気低迷で民間の設備投資が鈍化し同4.3%減。

2021年4月分(実績)・2021年5月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	4月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	5月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	4月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	817	▼ 4.2	▼ 21.4	700	(▼14.3)	▼ 22.7	1,511	1.1	1.1
電力	(1,349)	(▼31.3)	(12.5)	(1,400)	(3.8)	(▼15.7)	(906)	(▼37.9)	(▼5.6)
	3,734	▼ 12.2	▼ 3.8	3,500	▼ 6.3	▼ 5.8	4,844	▼ 16.1	11.3
電気機械	(219)	(▼18.0)	(23.7)				(231)	(▼13.5)	(32.8)
	11,758	▼ 9.7	13.1	9,500	▼ 19.2	13.2	16,657	▼ 0.6	26.3
自動車	(176)	(0.0)	(37.5)				(677)	(▼ 6.4)	(50.4)
	7,919	▼ 9.5	29.2	5,900	▼ 25.5	59.7	37,763	▼ 11.5	53.9
建設・電販	(96)	(200.0)	(1271.4)				(67)	(▼44.6)	(272.2)
	24,762	▼ 6.7	▼ 5.6	22,400	▼ 9.5	3.3	33,461	▼ 4.7	19.0
その他内需	(49)	(▼31.0)	(▼5.8)	(400)	(▼25.9)	(10.8)	(64)	(▼12.3)	(0.0)
	3,590	▼ 6.5	▼ 4.3	3,000	▼ 16.4	▼ 5.8	6,685	▼ 6.0	5.2
内需計	(1,889)	(▼24.8)	(20.9)	(1,800)	(▼4.7)	(▼11.0)	(1,945)	(▼26.4)	(16.7)
	52,580	▼ 8.2	2.3	45,000	▼ 14.4	8.2	100,921	▼ 7.4	29.3
輸出	(42)	(▼96.9)	(▼68.2)	(100)	(138.1)	(▼58.2)	(69)	(▼89.9)	(▼20.7)
	1,207	8.0	22.2	900	▼ 25.4	80.4	5,077	▼ 6.7	27.9
合計	(1,931)	(▼49.9)	(13.9)	(1,900)	(▼1.6)	(▼16.0)	(2,014)	(▼39.5)	(14.9)
	53,787	▼ 7.9	2.6	45,900	▼ 14.7	9.1	105,998	▼ 7.3	29.2
心線販売	(412)	(▼8.8)	(▼15.1)	(400)	(▼2.9)	(▼0.7)	(113)	(▼4.2)	(1.8)
	26,785	5.0	13.5	21,600	▼ 19.4	16.2	25,676	16.9	72.6

(注) ()内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

2021年4月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品 種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	3,880	▼ 11.6	▼ 10.4	4,303	14.0	54.3	
巻線	11,544	▼ 7.0	23.8	12,039	▼ 0.9	39.6	
機器用電線	3,539	▼ 2.1	5.1	11,175	▼ 2.6	17.4	
通信用電線・ケーブル	1,230	▼ 1.5	▼ 6.0	2,914	▼ 4.1	4.6	
電力用電線・ケーブル	17,947	▼ 10.5	▼ 11.8	21,246	▼ 10.4	9.2	
被覆線	9,618	▼ 4.8	▼ 2.7	15,732	▼ 3.1	15.6	
輸送用電線	6,029	▼ 8.3	56.5	38,590	▼ 12.3	53.0	
銅電線計	53,787	▼ 7.9	2.6	105,998	▼ 7.3	29.2	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル	52	▼ 5.5	▼ 14.8	183	▼ 6.6	▼ 19.0
	電力用電線・ケーブル、被覆線	2,267	3.6	▼ 24.6	3,029	6.4	▼ 3.7
	計	2,323	3.3	▼ 24.4	3,234	5.8	▼ 4.7
アルミ電線計	1,931	▼ 49.9	13.9	2,014	▼ 39.5	14.9	
光製品	3,187,013	▼ 25.9	▼ 17.2	24,674	▼ 28.2	15.0	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	5,375	▼ 28.1	1.8	

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkmc

(注) 4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週は、米経済指標が好調でドルが上昇、ドル建てのベースメタルが買い控えられ \$ 2,500 を挟んだ横ばいの推移でスタート。第2週、ロシアで輸出金属に関税がかけられることや、LME倉庫数量が150万トンまで減少していることで価格は上昇したが、中国国家備蓄からアルミ地金5万トン放出や、コロナ変異株感染拡大の懸念が高まり、経済成長が不安視される事から \$ 2,450 前後での推移となる。第3週、LMEアルミ在庫は、10万トンの搬出が記録され、搬出待ちのオフワラントを除いた純在庫は約90万トンと、20年3月以来の低水準となる。6月中国アルミ製品の輸出量は前月比プラス3.5%の45万トン弱と強い。その後もアルミ在庫は引き出され、総在庫数量は、148万トンを割り込む。中国2QGDPが市場予想より低い水準となった事で弱冠の下落があったが、米パウエルFBR議長の証言でドル安が進行するとアルミ価格は上昇。第4週、ロシアが導入予定の輸出関税に関して、ルサールは顧客に転嫁する予定だとの発言が聞かれるとアルミ価格は下落。LMEアルミ倉庫は減少傾向にあるが、日本主要港の6月アルミ在庫は9か月ぶりの高水準。最終週、中国政府による特定産業への締め付けが市場の不安を掻き立てている。一方でアルミ在庫は減少傾向が止まらず、140万トンを割り込む状況。注目されたFOMCは、特段サプライズはなく、市場は方向感を欠く動きとなっている。引き続きアルミ在庫が減少していることで、アルミ価格は下値堅く推移。当面は、方向感が定まらない中、\$ 2,500 を挟み狭いレンジでの推移予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー価格（CIF） 2021年 6～7月積 2,620.00～2,631.00 ドル/トン
- ・輸入採算価格 2021年 6～7月積 308.20～309.50 円/kg
- ・NSP 2021年 5月 326.60 円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2021年 7月～9月 320.00 円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位=千トン）

	' 21年5月	' 21年6月	' 20年6月
月生産	*2,400.0	2,304.0	2,280.0
平均日産	*77.4	76.8	76.0

(*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

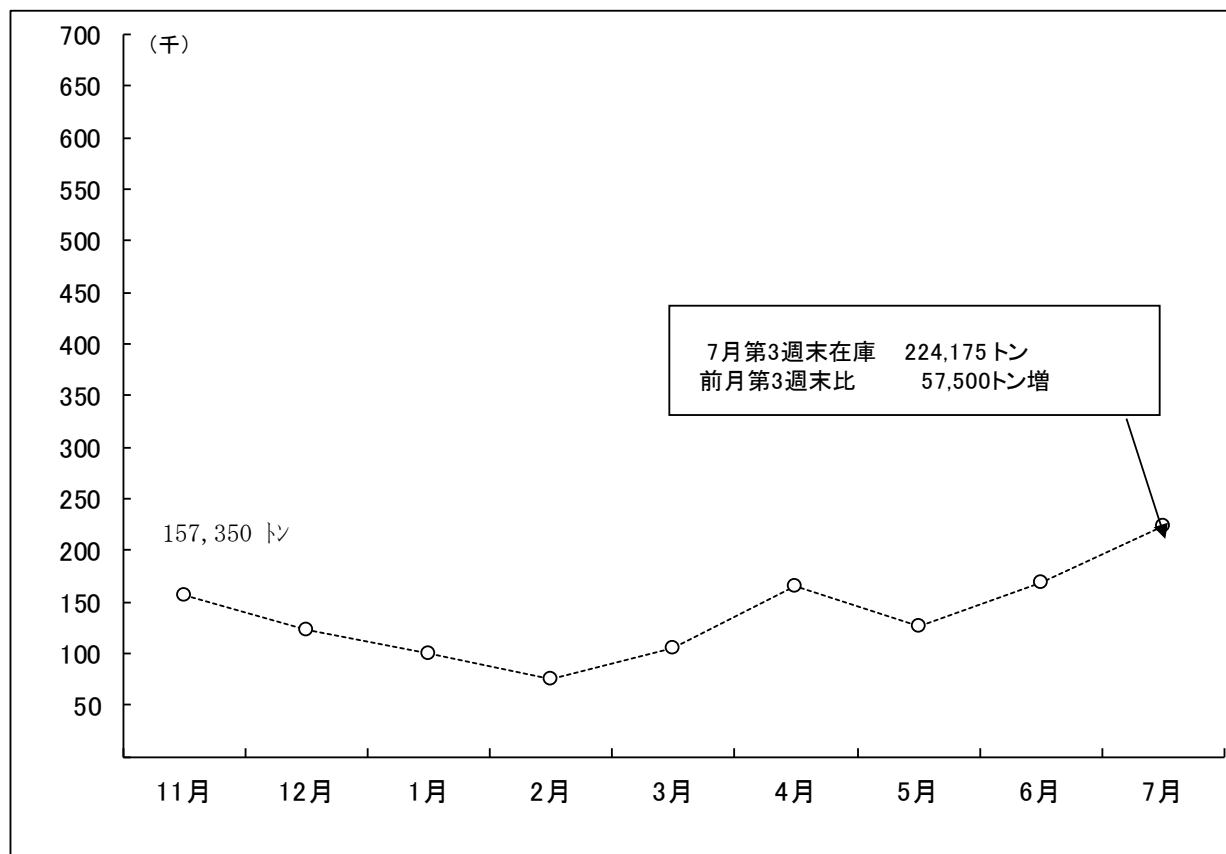
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2021年3月	2021年4月	増減	2020年4月	増減
横浜	126,900	133,200	+6,300	160,500	-27,300
名古屋	127,000	125,100	-1,900	133,500	-8,400
大阪	16,300	15,300	-1,000	15,000	+300
合計	270,200	273,600	+3,400	309,000	-35,400

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫（各月第3週末参考）



◎ COMEX在庫（第3週末）

・21年7月16日現在 45,355 S T 前月比 7,962 S T減

◎ 国内山元電気銅在庫

・21年5月末 95,366 トン 前月比 14,150 トン増

◎ 伸銅品生産実績

・21年5月確報 62,485 トン
 ・21年6月速報 68,600 トン 前月比 111.7 %

◎ 電線出荷実績

・21年6月速報 52,800 トン 前月比 115.0 %

◎ 軽圧品生産実績

・21年 6月	板 類	104,345 トン	
	押 出 類	63,756 トン	
		168,101 トン	前月比 108.4 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。